

**学** 高齢者大学開校式  
学びの喜びに心を弾ませて

楽しみながら知識や教養を身に付け、喜びと生きがいのある人生を過ごすことを目的とした「福智町高齢者大学」の開講式が、5月28日に地域交流センターで開催されました。12月までの半年間、町内に住む50歳以上の205人が赤池・金田・方城の3教室で週1回の講座を受講。一般教養などの座学に加え、健康づくりやバス研修など充実した内容が用意されています。



↑式に出席した157人の受講生は、半年間の学生生活に期待を膨らませていました。

↓ぬかるんだ田んぼに四苦八苦しながら、「食」を支える大変さを学んだ児童たち。



**土** 弁城小・朝鮮初級学校の児童が田植え体験  
とふれあい食と向き合う特別授業

5月21日に弁城地区の田んぼで弁城小3～6年生46人と朝鮮初級学校5・6年生20人が田植え体験を行いました。目印の線に沿って一列に並んだ60人は、泥んこになりながらも一本一本丁寧に苗植え。約600㎡の田んぼには1時間ほどで植えられた苗が整然とそろう、子どもたちの苦労をねぎらうかのように、小さな緑たちがさわやかな風に揺られていました。

↓夜空の下をゆるやかに浮遊し、訪れた人の心を魅了したホテルの乱舞(福智川)。



**静** 町内各地でホテルの乱舞  
かに偲く初夏の夜を舞うホテル

5月下旬から6月中旬にかけて、豊かな自然が残る福智の水辺に無数の「ゲンジホテル」が現れました。福智川・伊方川・弁城川など澄んだ小さな川沿いで、ホテルたちは生涯の伴侶を求めて水面や山間を飛び交い、今年も幻想的な光のダンスを披露。例年よりも少ない状況でしたが、観賞に訪れた家族連れなどは、一足先に夏の風情を満喫していました。

**青** 町内3中学校で体育会  
天にきらめいた青春の汗

町内3中学校(赤池中230人、金田中256人、方城中189人)の体育会が5月24日に催され、初夏を感じさせる暑さの中、各校ともダンスや組体操、リレーなど約20種目に汗を流しました。心を一つに練習を積み重ねてきた生徒たちは、特色あるスローガンのもと、その成果をいかんなく発揮。会場に詰めかけた保護者にその勇姿を披露し、3年生にとって中学校生活の最高の思い出を、それぞれの心に深く刻んでいました。



←練習につく練習の末、見事本番で7段ピラミッド完成させた方城中の男子組体操。

↓この日初お披露目された「福天」に「全国へ福智をPRできるキャラクターに成長してね」と微笑む嶋野さん。



**町** マスコットキャラクター名称決定表彰式  
の広告塔「福天」誕生

6月1日に福智町マスコットキャラクターの名称決定表彰式が開かれ、「福天」を応募した嶋野結さん(方城中1年)が町長室を訪れました。町内在住者限定の募集には幼児から88歳まで211もの作品が集まり、「福天」は「覚えやすさや町を連想しやすい」といった点が高評価。最優秀賞に輝いた嶋野さんは、「みんなに“福”をもたらし、弁“天”城に住む神様のイメージで名付けました。ずっと愛されるキャラクターになってほしいです」と、表彰式で初めて会った生まれたばかりのわが子へ優しいまなざしを注いでいました。

**ぬいぐるみ** ウナギトラベルが福智町に  
いぐるみの旅行代理店が福智へツアー

ぬいぐるみが旅をする「ウナギトラベル(東京都)」の一行が6月8日に福智町へ訪れました。同社は全国の観光地を舞台に展開していて、今回は九州初上陸となる「福岡市・福智町1泊2日ツアー」を計画。多忙や病気で旅行できない持ち主の代わりに遠くはアメリカから9人が参加し、へいちく運転体験や上野焼の窯元見学など、福智の魅力を存分に満喫していました。



↑ツアーに参加した9人の“お客様”が足利尊氏ゆかりの興国寺で座禅を初体験。

↓竹や土のうでシートを固定する「シート張り工法」の精度や迅速さを競う参加者。



**水** 田川地区消防本部主催「水防訓練競練会」  
害への迅速な対応を田川市郡で再確認

田川地区消防本部の水防訓練が6月7日に大任町で行われ、各市町村の消防団と田川地区消防署など10チームが参加しました。梅雨を目前に、関係機関の連携と水害への素早い対応力を身につけることが目的で、3年目の今年は増水時に堤防の決壊を防ぐための「シート張り工法」に挑戦。毎年発生する豪雨被害を見据え、互いに競いながら防災力の向上を図りました。